

関西大学新聞

(行發可一日十二月) 一版來頁 八版行設通場

一周年を迎へ決意新た 全學徒聖戰完遂へ

學生報國隊記念式典終る

十二月八日再び迎へた十二月八日、一年前の今日こそ、畏くも米英聯軍の大砲が演説せられた日であり、新たなる世界創造生成原理の宣言の日である。學徒たるものその日の感激を忘るべき事は出来ない、大なる目標を仰いで情熱胸にたぎりの使命の重たさを知つた日、眞に日本を知り、眞に日本を愛し得た日、日本と共に生死を誓ふ決意を燃えた日である。願はば星霜一歳、陸に海に空に緒戦の赫々の大捷に始、振古未有の大戦果を収めつゝあり、赫奕たる御威威と、情熱なる皇軍の奮闘によりて今後益々大勝の報至つて征戰目的達成を期して待つべきは疑を容れぬが、わが財力と物資とは比類なき發展を遂げた強大國を以て誇り、その豊富なる財力と物資とを傾倒して防戦に務め、長期戦を期して反撃を圖らんとして居る、まことに今次大戦、曠古空前の變局である。

此の時に當り、既に業卒へ先輩諸氏は戦野の第一線に立ち、残る者又召さるゝ日近きを期して餘情なし
學徒一丸となりて敵國降服の日まで、此の大難關を克服すべく殉忠の誠心に燃え再び十二月八日を迎へ、我等新たな感激をおぼへ、決意を固む！
此の日に生れた光榮を思ふ

此の日に生れた光榮を思ふ
若人は前九時、大前門前、引越御影池に於て分列式を
我々學生報國隊、大前門前、引越御影池に於て分列式を
大前門前、引越御影池に於て分列式を
大前門前、引越御影池に於て分列式を

詔書

天佑ヲ保シ萬世ニ系ノ皇座ヲ踐メル大日本帝國天皇、
朕ニ忠誠勇武ノ勲ヲ著シテ示ス
朕茲ニ米國及英國ノ對シテ皇座ヲ踐メル陸海將兵ノ全力ヲ奮テ戰ニ従事シ朕ノ百僚有司ハ勳勳精誠ヲ奉ルヲ朕ノ榮光庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ゲテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ
抑々東亞ノ安定ヲ確保シテ世界ノ平和ニ寄與スルハ不顯ナル皇祖所承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕ノ榮光ヲ惜ミサルハ之亦帝國ノ常ニシテ要務ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ノ露端ヲ開ケニ至ルハ己ムヲ得サルモノアリ朕カ志ヲラマヤ中華民國政府並ニ帝國ノ眞意ヲ解セシメ事ヲ籌ニテ東亞ノ平和ヲ復シテ帝國ノ國運ヲ更新スルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ経テ幸ニ米英兩國ノ露端ヲ閉ジテ善隣ノ誼ヲ結ビ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル米英兩國ノ露端ヲ保持シテ兄弟未タ離レ相聞タラズメシ米英兩國ノ露端ヲ保持シテ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シテ平和ノ名ニ匿レテ東洋ヲ非難シテ進メシメス利ハ更ニ帝國ノ平和ノ周邊ニ於テ武備ヲ増強シテ米英兩國ノ平和ノ通商ニ有テハ阻害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ノ政府ヲシテ事ヲ和平ノ道ニ回シテシメシメ忍久シキニ彌ルタルモ彼ハ毫毛交譲ノ精神ナク軍事上ノ解決ヲ延延セシメテ此ノ間却テ益々經濟上軍事上ノ脅威ヲ増大シテ我ヲ屈從シテ利益ヲ斯ノ如クニシテ推シテ東亞ノ安定ニ關シテ帝國ノ存立ニ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ存存自衛ノ爲斷然起テ一切ノ障礙ヲ破碎シテ外ナキナリ
皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有來ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ拔除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シテ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス
御名 御璽
昭和十六年十二月八日 各國務大臣副署



御堂筋にて分列行進する本學生 (十二月八日)

ドイツ文化通信

ヨーロッパの英米的世界

ヨーロッパの英米的世界
ヨーロッパの英米的世界
ヨーロッパの英米的世界
ヨーロッパの英米的世界

修練大會舉行

晩秋の奈良行

修練大會舉行
晩秋の奈良行
修練大會舉行
晩秋の奈良行

工學概論

その内容に期待

工學概論
その内容に期待
工學概論
その内容に期待

學生の情操ゆたか

白鷺會油繪展

學生の情操ゆたか
白鷺會油繪展
學生の情操ゆたか
白鷺會油繪展

隊名札一定

愛國詩朗讀會誕生

隊名札一定
愛國詩朗讀會誕生
隊名札一定
愛國詩朗讀會誕生

獻金

新マル主義研究

獻金
新マル主義研究
獻金
新マル主義研究

學生と讀書

最近の傾向を聞く

學生と讀書
最近の傾向を聞く
學生と讀書
最近の傾向を聞く

訓育要綱強化

學生の協力要望

訓育要綱強化
學生の協力要望
訓育要綱強化
學生の協力要望

寒稽古

盛況裡に終る

寒稽古
盛況裡に終る
寒稽古
盛況裡に終る

十一月分借覽合計冊数

(和漢書) (洋書)

種別	冊数	種別	冊数
総計	1063	和漢書	1063
政治學	300	政治學	300
經濟學	300	經濟學	300
社會學	300	社會學	300
法律學	300	法律學	300
文學	300	文學	300
藝術	300	藝術	300
科學	300	科學	300
醫學	300	醫學	300
農學	300	農學	300
工學	300	工學	300
軍事學	300	軍事學	300
教育學	300	教育學	300
宗教	300	宗教	300
歴史	300	歴史	300
地理	300	地理	300
言語	300	言語	300
外国語	300	外国語	300
その他	300	その他	300

時個人優勝

時個人優勝

時個人優勝
時個人優勝
時個人優勝
時個人優勝

新マル主義研究

吉田秀夫著

新マル主義研究
吉田秀夫著
新マル主義研究
吉田秀夫著

經濟思想と學說

伊藤久秋著

經濟思想と學說
伊藤久秋著
經濟思想と學說
伊藤久秋著

矢内原忠雄著

帝國主義下の印度

矢内原忠雄著
帝國主義下の印度
矢内原忠雄著
帝國主義下の印度

ネパールの花

宮武正道著

ネパールの花
宮武正道著
ネパールの花
宮武正道著

華僑問題と世界

左山貞雄譯 大川周明序

華僑問題と世界
左山貞雄譯 大川周明序
華僑問題と世界
左山貞雄譯 大川周明序

重要資源の研究

支那重要資源の研究

重要資源の研究
支那重要資源の研究
重要資源の研究
支那重要資源の研究

銀行職能論

森川太郎著

銀行職能論
森川太郎著
銀行職能論
森川太郎著

新會社法要綱

原田鹿太郎著

新會社法要綱
原田鹿太郎著
新會社法要綱
原田鹿太郎著

經濟學一般論

正井敬次著

經濟學一般論
正井敬次著
經濟學一般論
正井敬次著

時金融問題一斑

森川太郎著

時金融問題一斑
森川太郎著
時金融問題一斑
森川太郎著

人口理論と國際貿易

南亮三郎著

人口理論と國際貿易
南亮三郎著
人口理論と國際貿易
南亮三郎著

國民經濟學一般論

森川太郎著

國民經濟學一般論
森川太郎著
國民經濟學一般論
森川太郎著

國民經濟組織

正井敬次著

國民經濟組織
正井敬次著
國民經濟組織
正井敬次著

大同書院

發行

大同書院
發行
大同書院
發行

廣域經濟の構成原理

經濟的文化的聯結

楢崎 敏雄

日本を中心とする東洋の廣域經濟の構成原理を論ずる。廣域經濟とは、地理的文化的聯結を基礎として、一國の國境を越えて、廣く展開した經濟的結合を指す。...

經濟機構改編の理念

一元の機構への轉換

木村 孫八郎

政治と經濟の關係。政治は經濟の基礎を形成し、經濟は政治の實現を保障する。一元の機構への轉換は、國家の統一と發展の鍵となる。...

大東亞共榮圈

國際法の基本問題

川上 敬逸

大東亞共榮圈の實現は、國際法の原則に基づき、各國の平等と協力を基とする。東亞民族政策の意義は、この協力を促進するに在る。...

東亞民族政策の意義

民族的協同主義に就て

新明 正道

東亞民族政策の意義は、民族的協同主義の實現に在る。協同主義は、各民族の利益を調和し、共同の發展を促す。...

現代經濟學の主要問題

方法論的個人主義と全體主義

宇野 浩二

現代經濟學の主要問題は、方法論的個人主義と全體主義の対立に在る。個人主義は個人の自由と利益を重視し、全體主義は社會の利益を重視する。...

國家試験 第十四卷 第十二號

國家試験發行所

東京市本郷區森川町二番地

國家試験の解答と解説。民法、刑法、行政法、憲法、経済学に関する問題とその解答。...

國防經濟學大系 國防經濟總論 全十二卷 (分頁) 國防經濟學の総合解説法。赤松要、中山伊知郎、大隈信行、中山伊知郎、中山伊知郎、中山伊知郎、中山伊知郎、中山伊知郎、中山伊知郎、中山伊知郎、中山伊知郎、中山伊知郎。...

一年を回顧して

神正 雄

昨年の十二月八日大東亞戦争が勃発して以来、一年が過ぎた。この一年は、我が国に於ける戦時体制の完成、そして、大東亞戦争の激戦期に突入した一年である。...

大東亞戦争の回顧と展望

岩崎 卯一

第一、戦争社会学の課題。戦争社会学とは、「戦争の社会学的研究」を指す。戦争は、国家間の政治的利害衝突の結果として生ずる現象である。...

大東亞戦争所感

杉村 大助

大東亞戦争の勃発は、我が国に於ける戦時体制の完成を促した。同時に、大東亞戦争の激戦期に突入した。...

海洋班新設の基礎訓練開始

本報記者

大東亞戦争生活の回想

正井 敬次

昨年十二月八日の大東亞戦争の勃発から、一年が過ぎた。この一年は、我が国に於ける戦時体制の完成、そして、大東亞戦争の激戦期に突入した一年である。...

戦争と學制改革

岩崎 卯一

戦争と學制改革とは、密接な関係にある。戦争は、国家間の政治的利害衝突の結果として生ずる現象である。...

秋の隨筆

江里口 春志

研究論苑

李朝革命工作の基調

本 山 千 文

李朝革命の基調は、農民革命である。李朝は、封建的専制政治の極端な代表者として、農民の苦悶を招いた。...

秋の隨筆

江里口 春志

秋の隨筆

江里口 春志

大東亞戦争生活の回想

正井 敬次

昨年十二月八日の大東亞戦争の勃発から、一年が過ぎた。この一年は、我が国に於ける戦時体制の完成、そして、大東亞戦争の激戦期に突入した一年である。...

秋の隨筆

江里口 春志

秋の隨筆

江里口 春志

大東亞戦争生活の回想

正井 敬次

昨年十二月八日の大東亞戦争の勃発から、一年が過ぎた。この一年は、我が国に於ける戦時体制の完成、そして、大東亞戦争の激戦期に突入した一年である。...

秋の隨筆

江里口 春志

秋の隨筆

江里口 春志

大東亞戦争生活の回想

正井 敬次

昨年十二月八日の大東亞戦争の勃発から、一年が過ぎた。この一年は、我が国に於ける戦時体制の完成、そして、大東亞戦争の激戦期に突入した一年である。...

秋の隨筆

江里口 春志

秋の隨筆

江里口 春志

大東亞戦争生活の回想

正井 敬次

昨年十二月八日の大東亞戦争の勃発から、一年が過ぎた。この一年は、我が国に於ける戦時体制の完成、そして、大東亞戦争の激戦期に突入した一年である。...

秋の隨筆

江里口 春志

秋の隨筆

江里口 春志

大東亞戦争生活の回想

正井 敬次

昨年十二月八日の大東亞戦争の勃発から、一年が過ぎた。この一年は、我が国に於ける戦時体制の完成、そして、大東亞戦争の激戦期に突入した一年である。...

秋の隨筆

江里口 春志

秋の隨筆

江里口 春志

大東亞戦争生活の回想

正井 敬次

昨年十二月八日の大東亞戦争の勃発から、一年が過ぎた。この一年は、我が国に於ける戦時体制の完成、そして、大東亞戦争の激戦期に突入した一年である。...

秋の隨筆

江里口 春志

秋の隨筆

江里口 春志

大東亞戦争生活の回想

正井 敬次

昨年十二月八日の大東亞戦争の勃発から、一年が過ぎた。この一年は、我が国に於ける戦時体制の完成、そして、大東亞戦争の激戦期に突入した一年である。...

秋の隨筆

江里口 春志

秋の隨筆

江里口 春志

